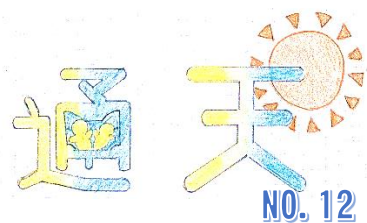


2年生学年通信

平成30年12月14日発行



タイトルデザイン: 山形杏さんのコメント

空のイメージにしたかったので、絵も色も空を連想できるようにしました。雨や太陽、学習や笑顔、友達などのモチーフを入れて、学校生活の様々なできごとを表しています。

京都市内校外学習を実施しました

11月13日(火)、京都市東山区(清水寺、八坂神社など)周辺において、校外学習を実施しました。この取り組みは次年度の修学旅行にむけた事前学習という位置づけで毎年行っています。行き先は年度によって多少異なることもありますが、神戸、京都、奈良など近畿エリアで行っております。生徒達は今学期、体育大会、連合体育大会、学習発表会、そして校外学習と行事続きでした。慌ただしい学校生活を送っていましたが、多くの生徒達が校外学習を楽しみにしていました。そのため、班内でプレゼンテーションをして行き先を決める事前計画は、とても活気のあるものとなりました。

当日は晴れて、過ごしやすい1日となりました。生徒も先生たちも朝の通勤ラッシュと同時刻の移動となりましたが、京阪祇園四条駅までほぼ予定通りに全班が通過することができました。しかし、この後乗車するホームを間違え、反対方向に行ってしまった班がありました。初めて訪れた場所で、計画通りにものごとを進めることはとても難しいことだと、みんなが感じたと思います。今回の校外学習では各班にひとつ(学校が契約し貸し出した)携帯電話を持っていたので、間違いがあったとしても、すぐに本部に連絡し、事なきを得ることができました。修学旅行ではこのような携帯電話をレンタルする予定はありませんし、個人の携帯電話の所持を認めることもありません。したがって、最も基本的なルールである、(施設の内外を問わず)班員が分かれて行動することがないようにしましょう。そして、もっと綿密な行動計画を立てましょう。今回の教訓が修学旅行でのステップアップにつながるように、またこれから頑張りたいと思います。



平成30年度中学生^{フーシャ}佛山市派遣事業の本校代表生徒が決定しました

この事業は、伊丹市国際友好都市中国・佛山市との教育交流の一環として、伊丹市立中学校に在籍する中学生を佛山市に派遣し、現地の生徒たちとの交流活動を通して友好を深めるものです。また、佛山市及び近隣都市の見学等をとおりて中国の文化や社会についての理解を深め、グローバルな視野をもった国際人を育成することを目的として実施されています。生徒たちには11月29日(木)の一括終礼で映像を交えて説明しました。(毎年男女交互に1名ずつ選出しますが、今年度、本校からは女子生徒を選出することになっていました。)厳正な作文審査、面接審査の結果、2年1組 五十嵐 瑤さんに決定しました。本校の代表であり、また、伊丹市の代表でもあります。帰国後はこの経験を活かし、これからますます活躍して欲しいと思います。

代表となる生徒は来年1月から伊丹市主催の事前研修を受け、3月下旬(春休み直前)に出国します。帰国後は報告書の作成や伊丹市の国際交流事業への参加・協力が義務づけられています。五十嵐さんの帰国報告が今から楽しみです。頑張ってください。

◆◆◆佛山市について◆◆◆

佛山市は広東省のほぼ中央に位置し、省都の広州市に隣接し、南は香港、マカオと隣接しています。中国食文化の主な発祥地(広東料理)でもあり、更に武術で有名なところ。有名な武術スターの李小龍(ブルース・リー)の出身は佛山です。広東料理とは、中華料理の4大系統の1つで南部の広州・潮州・福建などの料理があります。中でも広州は、豊富な産物に恵まれ、また、北京からきた宮廷料理人が伝えた調理技術も発達し「食は広州にあり」といわれるほど発展しました。広東料理は比較的薄味とされ、フカヒレ、つばめの巣、伊勢海老、アワビなどの高級海鮮はもちろん、変わった素材をたくさん使用することでも有名です。



観光地：祖廟



ふかひれ料理



保護者の皆様へ

平素より本校の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。先日の三者懇談ではご多用の中、ご来校いただきありがとうございました。次回の三者懇談は3年生の1学期末となり、期間が大きくあいてしまいます。気になること等がございましたら、ご遠慮なく担任までご連絡くださいますようお願い致します。

